

第4回「国立病院・労災病院の在り方を考える検討会」資料

国立病院機構の業務の在り方

平成23年7月5日 医政局国立病院課

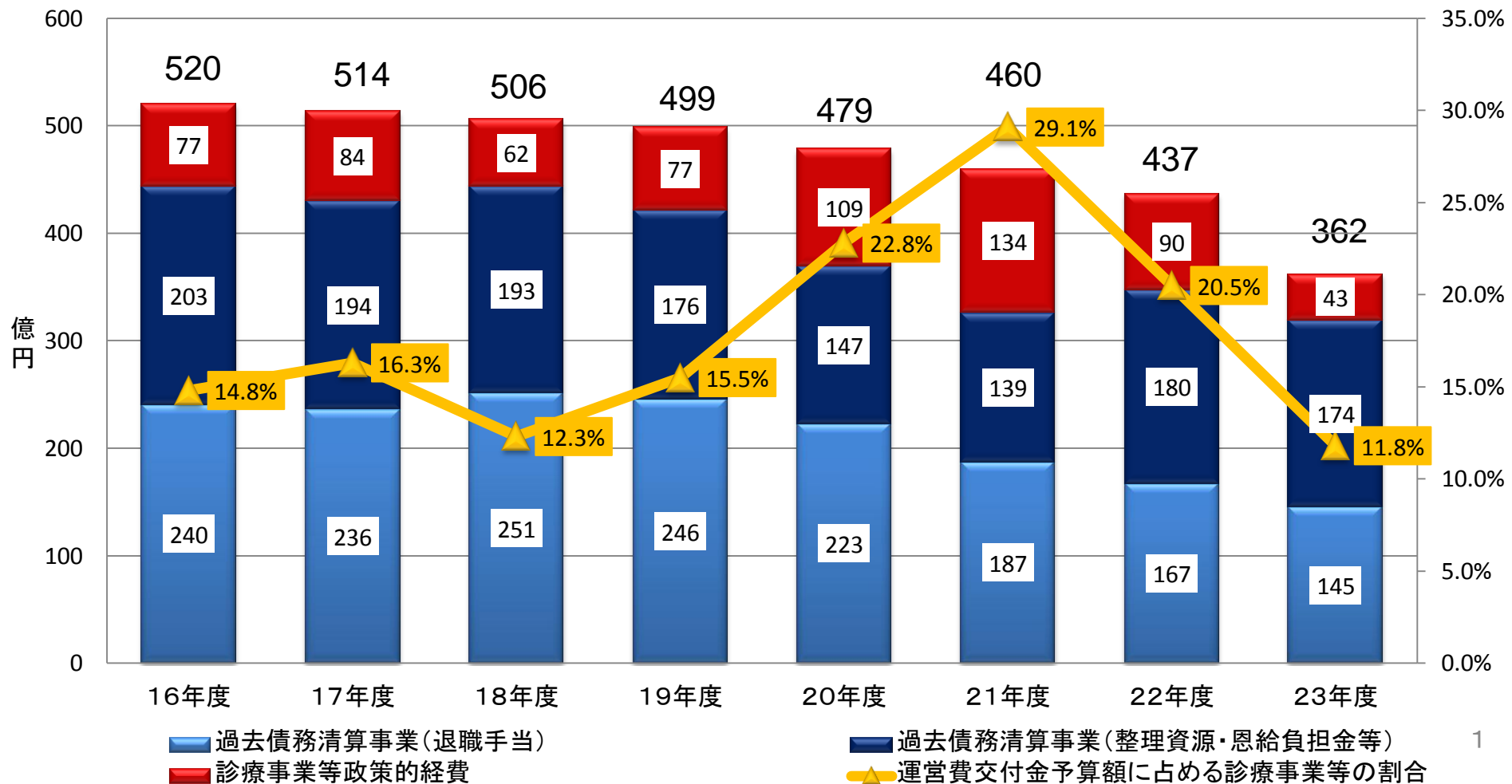
国立病院機構の業務運営の現状

国立病院機構の業務運営の特徴として、重症心身障害、筋ジストロフィー、結核等のセーフティネット分野の医療や救急医療、周産期医療等を担いつつ、収益向上及び経営効率化の取組により、

①国費に依存しない経営（注1）、かつ②黒字経営（注2）を達成していることが挙げられる。

（注1）機構の運営費交付金の大半（22年度：約8割、23年度：約9割）は恩給期間に係る退職給付債務の積立不足を補う負担である整理資源など過去債務清算事業に充てられている。

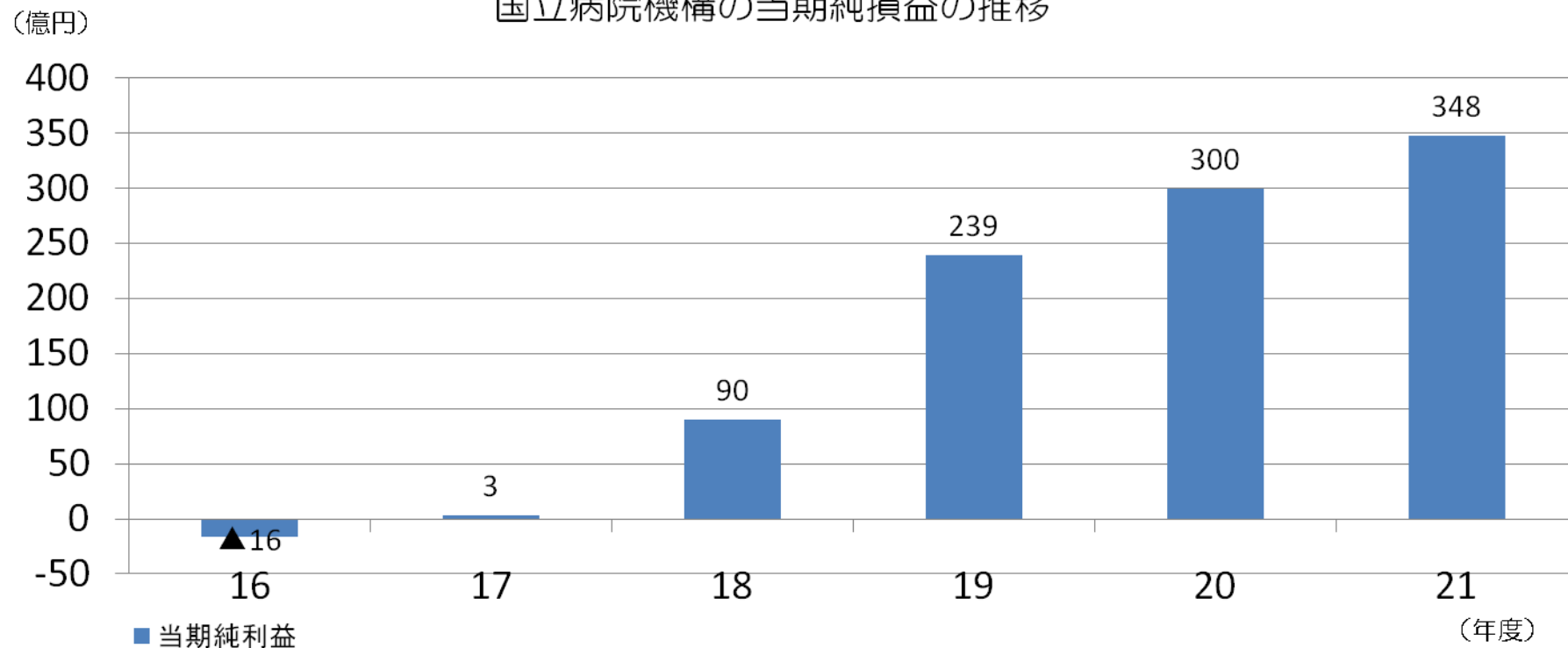
（注2）国立病院機構は平成17年度以降、5期連続で黒字経営を達成（参考参照）。



(参考) 国立病院機構の財務状況

- (1) 医業収益の向上、人件費・材料費の伸びの抑制、借入金の縮減による支払利息の減等の取組により、平成17年度以降、5期連続で黒字経営を達成。
- (2) 黒字病院の比率も、平成16年度の独法化時には全体の5割弱（黒字：71病院、赤字：83病院）であったが、21年度には8割弱（黒字：112病院、赤字：32病院）に増加。

国立病院機構の当期純損益の推移



国立病院機構の業務運営の現状（続き）

重症心身障害児（者）や筋ジストロフィー分野の医業利益

- 重症心身障害児（者）や筋ジストロフィーについては、児童福祉法に基づく給付費及び措置費等の支給により医業利益は黒字だが、重症度の高い患者が多く、専門性を有する医師・看護師の確保・育成が課題であること等から、民間の医療機関で安定的に提供することは困難であると考えられる。

背景

（1）セーフティネット分野の医師不足

①専門医の不足→「医師確保」が課題

- ・全国的な医師不足の状況の中で、重症心身障害児（者）や筋ジストロフィーなどのセーフティ分野診療を担う専門医の確保が困難

②専門医の高齢化→「若手医師の確保・育成」が課題

- ・国立病院機構全体の医師の年齢層のピークは35～39歳
重症心身障害児（者）の診療における中心的医師の年齢層のピークは50～54歳
筋ジストロフィー患者の診療における中心的医師の年齢層のピークは40～49歳
※（出所）国立病院機構「旧療養所型病院の活性化方策に関する検討会」重症心身障害児・筋ジストロフィー報告書

（2）セーフティネット分野の看護師不足→「看護師確保」が課題

- ・7対1看護体制の急性期病院に就職する看護師が多く、セーフティネット分野での看護師確保は困難

国立病院機構の取組

（1）医師の確保

- ・初期研修において、複数施設での連携プログラムを実施することで、重症心身障害児（者）や筋ジストロフィーなどのセーフティネット分野の研修を実施
- ・研修医・専修医を対象として、講義と組み合わせる技術習得を行うセミナー形式の実地研修を実施（各領域の専門性に秀でた指導医が指導）

（2）看護師の確保

- ・附属看護師等養成所のカリキュラムにおいて、重症心身障害児（者）や筋ジストロフィー領域の看護に関する教育を行い、それらの領域を担う機構病院での実習を行う
- ・病院間派遣を含む人事異動調整をブロック事務所が実施

（3）重症心身障害児（者）等の研究の推進

- ・研究ネットワークを活用して重症心身障害児（者）や神経・筋疾患の研究を推進

【参考1】重症心身障害病床の医業利益（石川病院の事例）

- (1) 石川病院の重症心身障害病床の医業利益は、児童福祉法に基づく給付費及び措置費の支給により、毎年黒字となっている。
- (2) 平成24年4月1日より、18歳以上の患者については、児童福祉法に基づく給付費及び措置費に代わり、障害者自立支援法等の改正で療養介護サービス費が支給されることとなる。これにより、現在の基準によれば、収入の減及び費用の増となり、部門別収支の悪化が見込まれる。

(参考) 石川病院

所在地：石川県加賀市

病床数：240床（重心病床：43床、一般病床：197床）

平成22年度予算額：2,011百万円（うち国費投入なし）

	運営病床数 (床)	1日平均患者 数(人)	病床利用率 (%)	入院診療収 益等(※1) (百万円) (A)	診療業務費 (※2) (百万円) (B)	(A)-(B) (百万円)	給付費及び 措置費等 (※3) (百万円) (C)	重症心身障 害病床の医 業利益 (A)+(C)-(B) (百万円)	病院全体の 医業利益 (百万円)
平成19年度	40	39.6	99.0	289	347	▲58	123	65	▲95
平成20年度	40	39.9	99.8	301	332	▲31	125	94	12
平成21年度	43	42.0	97.7	321	324	▲3	132	129	191

(※1) 入院診療収益等…入院診療収益（給付費及び措置費を除く）＋室料差額収益＋保健予防活動収益＋受託検査・施設利用収益＋その他医業収益（文書料＋その他）から保険等の査定減を引いたもの。

(※2) 診療業務費…給与費＋材料費＋委託費＋設備関係費＋研究研修費＋経費（福利厚生費、旅費交通費、水道光熱費等）

(※3) 給付費及び措置費…児童福祉法に基づく給付費・措置費及び障害者自立支援法に基づく療養介護サービス費

【参考2】筋ジストロフィー病床の医業利益（旭川医療センターの事例）

- (1) 旭川医療センターの筋ジストロフィー病床の医業利益は、障害者自立支援法に基づく療養介護サービス費（18歳以上）及び児童福祉法に基づく給付費・措置費（18歳未満）の支給により、毎年黒字となっている。
- (2) ただし、療養介護サービス費等がなければ、収支は赤字である。

(参考) 旭川医療センター

所在地：北海道旭川市

病床数：310床（筋ジストロフィー病床：40床、結核病床：20床、一般病床：250床）

平成22年度予算額：5,648百万円（うち国費投入額82百万円）

	運営病床数 (床)	1日平均患者 数(人)	病床利用率 (%)	入院診療収 益等(※1) (百万円) (A)	診療業務費 (※2) (百万円) (B)	(A)-(B) (百万円)	療養介護 サービス費 等(※3) (百万円) (C)	筋ジストロ フィー病床 の医業利益 (A)+(C)-(B) (百万円)	病院全体の 医業利益 (百万円)
平成19年度	40	36.1	90.4	314	370	▲56	109	53	45
平成20年度	40	37.3	93.2	314	417	▲103	112	9	152
平成21年度	40	33.9	84.7	310	356	▲46	107	61	94

(※1) 入院診療収益等…入院診療収益（給付費及び措置費を除く）＋室料差額収益＋保健予防活動収益＋受託検査・施設利用収益＋その他医業収益（文書料＋その他）から保険等の査定減を引いたもの。

(※2) 診療業務費…給与費＋材料費＋委託費＋設備関係費＋研究研修費＋経費（福利厚生費、旅費交通費、水道光熱費等）

(※3) 療養介護サービス費等…障害者自立支援法に基づく療養介護サービス費及び児童福祉法に基づく給付費・措置費

【参考3】144病院の病院特性

病院名	所在地	病床数	病院特性													
			重症心身障害	筋ジストロフィー	結核	心神喪失者等 医療観察法	重症難病患者入 院施設確保事業	エイズ拠点病院	災害拠点病院	救命救急センター	周産期母子医療 センター	小児医療拠点 病院等	へき地拠点病院	地域医療支援 病院	がん診療拠点 病院	
北海道がんセンター	北海道札幌市	520						○								◎
北海道医療センター	北海道札幌市	500			○			◎	○	○	○					
函館病院	北海道函館市	310			○											○
旭川医療センター	北海道旭川市	310		○	○			○	○							
帯広病院	北海道帯広市	370	○		○											
八雲病院	北海道二世郡	240	○	○												
弘前病院	青森県弘前市	342										○				
八戸病院	青森県八戸市	138	○													
青森病院	青森県青森市	320	○	○	○			○					○			
盛岡病院	岩手県盛岡市	270			○				○							
花巻病院	岩手県花巻市	254	○			○										
岩手病院	岩手県一関市	220	○					○								
釜石病院	岩手県釜石市	180	○					○								
仙台医療センター	宮城県仙台市	698						○	◎	◎	○	○			○	○
西多賀病院	宮城県仙台市	480	○	○				◎	○							
宮城病院	宮城県亶理郡	344	○					◎	○							
あきた病院	秋田県由利本荘市	340	○	○	○			○								
山形病院	山形県山形市	308	○		○			◎								
米沢病院	山形県米沢市	220	○					○								
福島病院	福島県須賀川市	372	○						○			○				
いわき病院	福島県いわき市	180	○					○								
水戸医療センター	茨城県東茨城郡	500							○		○				○	○
霞ヶ浦医療センター	茨城県土浦市	250							○						○	
茨城東病院	茨城県那珂郡	428	○		○				○						○	
栃木病院	栃木県宇都宮市	429							○	○					○	
宇都宮病院	栃木県宇都宮市	430	○		○			○	○							

病院名	所在地	病床数	病院特性											
			重症心身障害	筋ジストロフィー	結核	心療観察法 心療観察法 心療観察法	重症難病患者入 院施設確保事業	エイズ拠点病院	災害拠点病院	救命救急センター	周産期母子医療 センター	小児医療拠点 病院等	へき地拠点病院	地域医療支援 病院
高崎総合医療センター	群馬県高崎市	451						○	○	○			○	○
沼田病院	群馬県沼田市	199					○		○			○		
西群馬病院	群馬県渋川市	380	○		○			○					○	○
西埼玉中央病院	埼玉県所沢市	325						○			○			
埼玉病院	埼玉県和光市	350					○	○					○	○
東埼玉病院	埼玉県蓮田市	552	○	○	○		◎	○						
千葉医療センター	千葉県千葉市	455						○					○	○
千葉東病院	千葉県千葉市	470	○		○		◎	○						
下総精神医療センター	千葉県千葉市	469					○	○						
下志津病院	千葉県四街道市	440	○	○										
東京医療センター	東京都目黒区	780					◎	○	○	○			○	
災害医療センター	東京都立川市	455							◎○	○			○	
東京病院	東京都清瀬市	560			○		◎	○	○					
村山医療センター	東京都武蔵村山市	350												
横浜医療センター	神奈川県横浜市	510						○	○	○	○	○	○	
久里浜アルコール症センター	神奈川県横須賀市	332					○							
箱根病院	神奈川県小田原市	199		○			○							
相模原病院	神奈川県相模原市	458						○						
神奈川病院	神奈川県秦野市	370	○		○								○	
西新潟中央病院	新潟県新潟市	420	○		○		○	○						
新潟病院	新潟県柏崎市	350	○	○			○							
さいがた病院	新潟県上越市	410	○				○	○						
甲府病院	山梨県甲府市	276	○		○			○			○			
東長野病院	長野県長野市	223	○											
まつもと医療センター	長野県松本市	573	○		○		○	○					○	
信州上田医療センター	長野県上田市	420					○	○	○		○		○	
小諸高原病院	長野県小諸市	340	○				○	○						
富山病院	富山県富山市	320	○		○									
北陸病院	富山県南砺市	254	○				○							
金沢医療センター	石川県金沢市	650					○	○	○		○	○	○	○

病院名	所在地	病床数	病院特性													
			重症心身障害	筋ジストロフィー	結核	心療観察法 心神喪失者等	重症難病患者人 院施設確保事業	エイズ拠点病院	災害拠点病院	救命救急センター	周産期母子医療 センター	小児医療拠点 病院等	へき地拠点病院	地域医療支援 病院	がん診療拠点 病院	
医王病院	石川県金沢市	310	○	○			◎	○								
七尾病院	石川県七尾市	240	○		○		○									
石川病院	石川県加賀市	240	○				○	○								
長良医療センター	岐阜県岐阜市	470	○	○	○		○	○			○	○				
静岡てんかん・神経医療センター	静岡県静岡市	410	○				○									
静岡富士病院	静岡県富士宮市	175	○													
天竜病院	静岡県浜松市	380	○		○		○						○			
静岡医療センター	静岡県駿東郡	450					○	○	○							
名古屋医療センター	愛知県名古屋市	800					○	◎	○	○				○	○	
東名古屋病院	愛知県名古屋市	461	○		○		○	○								
東尾張病院	愛知県名古屋市	233					○	○								
豊橋医療センター	愛知県豊橋市	414	○						○							
三重病院	三重県津市	280	○				◎					○	○			
鈴鹿病院	三重県鈴鹿市	276	○	○			○									
三重中央医療センター	三重県津市	500			○			○			◎			○	○	
榑原病院	三重県津市	226					○									
福井病院	福井県敦賀市	320	○		○			○								○
あわら病院	福井県あわら市	180	○													
滋賀病院	滋賀県東近江市	220			○		○	○								
紫香楽病院	滋賀県甲賀市	180	○				◎									
京都医療センター	京都府京都市	600					○	○		○	○			○	○	
宇多野病院	京都府京都市	400		○			◎									
舞鶴医療センター	京都府舞鶴市	494					○	○			○			○	○	
南京都病院	京都府城陽市	370	○		○		○									
大阪医療センター	大阪府大阪市	694						◎	○	○				○	○	
近畿中央胸部疾患センター	大阪府堺市	385			○			○								
刀根山病院	大阪府豊中市	550		○	○		○	○								
大阪南医療センター	大阪府河内長野市	520						○						○	○	
神戸医療センター	兵庫県神戸市	304						○								○
姫路医療センター	兵庫県姫路市	430						○	○							○

病院名	所在地	病床数	病院特性													
			重症心身障害	筋ジストロフィー	結核	心療観察法 心神喪失者等	重症難病患者人 院施設確保事業	エイズ拠点病院	災害拠点病院	救命救急センター	周産期母子医療 センター	小児医療拠点 病院等	へき地拠点病院	地域医療支援 病院	がん診療拠点 病院	
兵庫青野原病院	兵庫県小野市	310	○		○											
兵庫中央病院	兵庫県三田市	550	○	○	○		◎	○								
奈良医療センター	奈良県奈良市	370	○	○	○		○									
やまと精神医療センター	奈良県大和郡山市	263	○				○									
南和歌山医療センター	和歌山県田辺市	316						○		○					○	○
和歌山病院	和歌山県日高郡	375	○		○		◎								○	
鳥取医療センター	鳥取県鳥取市	548	○		○	○	○									
米子医療センター	鳥取県米子市	250													○	○
松江医療センター	島根県松江市	353	○	○	○		◎									
浜田医療センター	島根県浜田市	365					○	○		○			○	○	○	○
岡山医療センター	岡山県岡山市	580					○	○			◎	○		○	○	○
南岡山医療センター	岡山県都窪郡	506	○		○		○	○								
呉医療センター	広島県呉市	700					○	○	○	○	○			○	○	
福山医療センター	広島県福山市	410						○			○			○		
広島西医療センター	広島県大竹市	440	○	○			◎						○			
東広島医療センター	広島県東広島市	431			○		○							○	○	
賀茂精神医療センター	広島県東広島市	430	○				○									
関門医療センター	山口県下関市	400						○	○	○						
山口宇部医療センター	山口県宇部市	435	○		○											
岩国医療センター	山口県岩国市	530						○		○	○	○	○	○	○	○
柳井病院	山口県柳井市	280	○													
東徳島医療センター	徳島県板野郡	330	○		○											
徳島病院	徳島県吉野川市	300		○			◎									
高松医療センター	香川県高松市	320			○		◎									
善通寺病院	香川県善通寺市	291					○	○	○							
香川小児病院	香川県善通寺市	500	○					○			◎	○				
四国がんセンター	愛媛県松山市	405														◎
愛媛病院	愛媛県東温市	459	○		○		◎	○								
高知病院	高知県高知市	424	○		○			○	○				○			
小倉医療センター	福岡県北九州市	400									○			○		

病院名	所在地	病床数	病院特性												
			重症心身障害	筋ジストロフィー	結核	心療観察法 医療観察法等	重症難病患者入院 施設確保事業	エイズ拠点病院	災害拠点病院	救命救急センター	周産期母子医療 センター	小児医療拠点 病院等	へき地拠点病院	地域医療支援 病院	がん診療拠点 病院
九州がんセンター	福岡県福岡市	411													◎
九州医療センター	福岡県福岡市	700					○	◎	◎		○			○	○
福岡病院	福岡県福岡市	368	○									○			
大牟田病院	福岡県大牟田市	430	○	○	○		○								
福岡東医療センター	福岡県古賀市	591	○		○		○		○			○		○	○
佐賀病院	佐賀県佐賀市	292									◎			○	
肥前精神医療センター	佐賀県神埼郡	557	○				○								
東佐賀病院	佐賀県三養基郡	414	○		○		○							○	
嬉野医療センター	佐賀県嬉野市	424					○			○		○		○	○
長崎病院	長崎県長崎市	280	○				○								
長崎医療センター	長崎県大村市	643							○	◎	○	◎	○	○	○
長崎川棚医療センター	長崎県東彼杵郡	315		○	○		◎							○	
熊本医療センター	熊本県熊本市	550					○	○	○	○				○	○
熊本南病院	熊本県宇城市	240			○		◎								
菊池病院	熊本県合志市	247	○				○								
熊本再春荘病院	熊本県合志市	513	○	○			◎								
大分医療センター	大分県大分市	300							○						○
別府医療センター	大分県別府市	500					○	○			○	○		○	○
西別府病院	大分県別府市	400	○	○	○		○	○							
宮崎東病院	宮崎県宮崎市	300		○	○		◎								
都城病院	宮崎県都城市	307						○			○			○	○
宮崎病院	宮崎県児湯郡	280	○												
鹿児島島医療センター	鹿児島県鹿児島市	370						○						○	○
指宿病院	鹿児島県指宿市	271										○		○	
南九州病院	鹿児島県始良市	475	○	○	○		◎								○
沖縄病院	沖縄県宜野湾市	320		○	○										
琉球病院	沖縄県国頭郡	406	○				○								
合計			73	26	51	14	76	67	24	18	23	14	7	45	36

※ 病院特性の◎は、重症難病患者入院施設確保事業拠点病院、エイズブロック拠点病院、基幹災害医療センター、総合周産期母子医療センター、都道府県がん診療拠点病院、

※ 病床数は平成23年4月1日現在の病床数

【参考4】平成21年度における国立病院機構病院の労災患者比率

病院名	労災指定 医療機関	入院			外来			労災比率 合計
		延患者数 (人)	延労災患者数 (人)	労災比率	延患者数 (人)	延労災患者数 (人)	労災比率	
北海道がんセンター	○	162,885	630	0.39%	140,173	108	0.08%	0.24%
北海道医療センター	○	90,684	652	0.72%	95,669	398	0.42%	0.56%
函館病院	○	67,938	256	0.38%	62,717	286	0.46%	0.41%
旭川医療センター	○	88,992	447	0.50%	72,858	105	0.14%	0.34%
帯広病院	○	110,726	141	0.13%	57,599	11	0.02%	0.09%
八雲病院	×	84,401	0	0.00%	1,518	0	0.00%	0.00%
弘前病院	○	102,681	137	0.13%	127,191	502	0.39%	0.28%
八戸病院	○	50,274	38	0.08%	4,897	0	0.00%	0.07%
青森病院	○	97,746	0	0.00%	34,027	15	0.04%	0.01%
盛岡病院	○	44,804	95	0.21%	27,609	133	0.48%	0.31%
花巻病院	○	65,161	0	0.00%	25,665	14	0.05%	0.02%
岩手病院	○	77,557	23	0.03%	16,236	51	0.31%	0.08%
釜石病院	○	62,320	0	0.00%	4,954	0	0.00%	0.00%
仙台医療センター	○	210,024	1,999	0.95%	227,104	1,054	0.46%	0.70%
西多賀病院	○	152,039	842	0.55%	33,272	151	0.45%	0.54%
宮城病院	○	113,027	66	0.06%	34,015	67	0.20%	0.09%
あきた病院	○	109,919	0	0.00%	12,339	11	0.09%	0.01%
山形病院	○	94,508	372	0.39%	17,738	126	0.71%	0.44%
米沢病院	○	65,982	487	0.74%	4,622	10	0.22%	0.70%
福島病院	○	81,793	119	0.15%	37,560	174	0.46%	0.25%
いわき病院	○	52,590	1	0.00%	7,717	0	0.00%	0.00%
水戸医療センター	○	148,456	1,284	0.86%	175,046	412	0.24%	0.52%
霞ヶ浦医療センター	○	45,010	0	0.00%	79,554	34	0.04%	0.03%
茨城東病院	○	103,081	402	0.39%	29,848	126	0.42%	0.40%
栃木病院	○	98,896	1,264	1.28%	120,894	481	0.40%	0.79%
宇都宮病院	○	112,261	571	0.51%	58,848	528	0.90%	0.64%
高崎総合医療センター	○	110,521	1,281	1.16%	141,723	494	0.35%	0.70%
沼田病院	○	46,121	35	0.08%	64,156	67	0.10%	0.09%
西群馬病院	○	113,359	317	0.28%	30,267	214	0.71%	0.37%
西埼玉中央病院	○	89,042	661	0.74%	129,666	542	0.42%	0.55%
埼玉病院	○	102,346	263	0.26%	181,396	486	0.27%	0.26%
東埼玉病院	○	143,332	550	0.38%	34,274	108	0.32%	0.37%
千葉医療センター	○	134,976	794	0.59%	200,647	694	0.35%	0.44%
千葉東病院	○	126,620	182	0.14%	87,447	148	0.17%	0.15%
下総精神医療センター	○	109,994	0	0.00%	35,002	17	0.05%	0.01%
下志津病院	○	131,665	94	0.07%	89,385	267	0.30%	0.16%

病院名	労災指定 医療機関	入院			外来			労災比率 合計
		延患者数 (人)	延労災患者数 (人)	労災比率	延患者数 (人)	延労災患者数 (人)	労災比率	
東京医療センター	○	255,980	1,070	0.42%	384,427	1,164	0.30%	0.35%
災害医療センター	○	146,541	2,786	1.90%	194,025	2,070	1.07%	1.43%
東京病院	○	162,586	533	0.33%	117,565	232	0.20%	0.27%
村山医療センター	○	87,874	4,870	5.54%	53,875	623	1.16%	3.88%
横浜医療センター	○	141,755	1,344	0.95%	158,382	1,000	0.63%	0.78%
久里浜アルコール症センター	○	99,720	220	0.22%	51,498	33	0.06%	0.17%
箱根病院	○	59,557	0	0.00%	20,096	176	0.88%	0.22%
相模原病院	○	133,978	630	0.47%	251,224	800	0.32%	0.37%
神奈川病院	○	89,564	670	0.75%	63,120	622	0.99%	0.85%
西新潟中央病院	○	134,417	906	0.67%	63,011	624	0.99%	0.77%
新潟病院	○	105,617	0	0.00%	37,700	12	0.03%	0.01%
さいがた病院	○	95,396	222	0.23%	42,856	16	0.04%	0.17%
甲府病院	○	76,325	289	0.38%	64,062	174	0.27%	0.33%
東長野病院	○	66,043	0	0.00%	19,317	74	0.38%	0.09%
まつもと医療センター	○	142,682	1,073	0.75%	120,346	693	0.58%	0.67%
信州上田医療センター	○	84,831	601	0.71%	99,739	806	0.81%	0.76%
小諸高原病院	○	104,943	0	0.00%	21,917	26	0.12%	0.02%
富山病院	○	105,672	740	0.70%	15,529	0	0.00%	0.61%
北陸病院	×	82,736	0	0.00%	11,118	0	0.00%	0.00%
金沢医療センター	○	194,969	1,415	0.73%	198,265	594	0.30%	0.51%
医王病院	○	103,279	0	0.00%	17,074	5	0.03%	0.00%
七尾病院	×	73,151	0	0.00%	8,641	0	0.00%	0.00%
石川病院	○	64,961	410	0.63%	20,933	176	0.84%	0.68%
長良医療センター	○	140,512	642	0.46%	50,236	140	0.28%	0.41%
静岡てんかん・神経医療センター	×	129,738	0	0.00%	36,178	0	0.00%	0.00%
静岡富士病院	○	36,425	142	0.39%	13,746	19	0.14%	0.32%
天竜病院	○	103,202	548	0.53%	30,275	127	0.42%	0.51%
静岡医療センター	○	98,913	447	0.45%	132,036	768	0.58%	0.53%
名古屋医療センター	○	229,023	2,355	1.03%	312,110	1,189	0.38%	0.65%
東名古屋病院	○	134,885	215	0.16%	42,005	118	0.28%	0.19%
東尾張病院	○	76,122	0	0.00%	21,039	0	0.00%	0.00%
豊橋医療センター	○	129,807	2,021	1.56%	137,699	706	0.51%	1.02%
三重病院	○	78,920	423	0.54%	51,752	206	0.40%	0.48%
鈴鹿病院	○	96,357	0	0.00%	9,159	5	0.05%	0.00%
三重中央医療センター	○	138,699	1,171	0.84%	180,252	1,054	0.58%	0.70%
榑原病院	×	73,304	0	0.00%	16,039	0	0.00%	0.00%

病院名	労災指定医療機関	入院			外来			労災比率合計
		延患者数(人)	延労災患者数(人)	労災比率	延患者数(人)	延労災患者数(人)	労災比率	
福井病院	○	99,665	1,018	1.02%	70,782	697	0.98%	1.01%
あわら病院	○	56,568	0	0.00%	18,174	2	0.01%	0.00%
滋賀病院	○	31,115	492	1.58%	57,257	340	0.59%	0.94%
紫香楽病院	○	59,515	432	0.73%	18,159	169	0.93%	0.77%
京都医療センター	○	190,396	2,267	1.19%	302,452	1,186	0.39%	0.70%
宇多野病院	○	120,545	653	0.54%	48,100	472	0.98%	0.67%
舞鶴医療センター	○	109,917	415	0.38%	111,303	187	0.17%	0.27%
南京都病院	○	104,810	161	0.15%	40,536	79	0.19%	0.17%
大阪医療センター	○	216,348	2,011	0.93%	265,802	657	0.25%	0.55%
近畿中央胸部疾患センター	○	140,111	3,145	2.24%	50,626	1,186	2.34%	2.27%
刀根山病院	○	176,929	279	0.16%	63,393	161	0.25%	0.18%
大阪南医療センター	○	132,579	140	0.11%	188,652	112	0.06%	0.08%
神戸医療センター	○	90,692	332	0.37%	115,043	196	0.17%	0.26%
姫路医療センター	○	133,015	1,628	1.22%	153,583	1,398	0.91%	1.06%
兵庫青野原病院	○	65,228	0	0.00%	19,095	113	0.59%	0.13%
兵庫中央病院	○	148,633	540	0.36%	46,287	51	0.11%	0.30%
奈良医療センター	○	96,379	473	0.49%	37,465	243	0.65%	0.53%
やまと精神医療センター	×	76,248	0	0.00%	18,797	0	0.00%	0.00%
南和歌山医療センター	○	100,932	2,297	2.28%	109,918	1,508	1.37%	1.80%
和歌山病院	○	100,008	14	0.01%	23,218	38	0.16%	0.04%
鳥取医療センター	○	160,983	51	0.03%	39,911	25	0.06%	0.04%
米子医療センター	○	75,143	389	0.52%	100,475	241	0.24%	0.36%
松江医療センター	○	104,900	241	0.23%	22,992	54	0.23%	0.23%
浜田医療センター	○	108,325	983	0.91%	120,624	486	0.40%	0.64%
岡山医療センター	○	187,602	1,330	0.71%	205,413	1,036	0.50%	0.60%
南岡山医療センター	○	128,157	1,073	0.84%	69,831	135	0.19%	0.61%
呉医療センター	○	220,961	2,227	1.01%	259,099	1,373	0.53%	0.75%
福山医療センター	○	110,443	908	0.82%	143,854	680	0.47%	0.62%
広島西医療センター	○	147,135	517	0.35%	87,590	720	0.82%	0.53%
東広島医療センター	○	125,927	1,599	1.27%	150,284	1,064	0.71%	0.96%
賀茂精神医療センター	○	139,909	0	0.00%	20,803	0	0.00%	0.00%
関門医療センター	○	109,584	1,360	1.24%	133,492	633	0.47%	0.82%
山口宇部医療センター	○	127,069	2,505	1.97%	32,959	236	0.72%	1.71%
岩国医療センター	○	175,419	3,007	1.71%	167,669	898	0.54%	1.14%
柳井病院	×	94,948	365	0.38%	17,976	14	0.08%	0.34%
東徳島医療センター	○	87,533	40	0.05%	50,644	19	0.04%	0.04%
徳島病院	○	90,175	379	0.42%	27,181	109	0.40%	0.42%

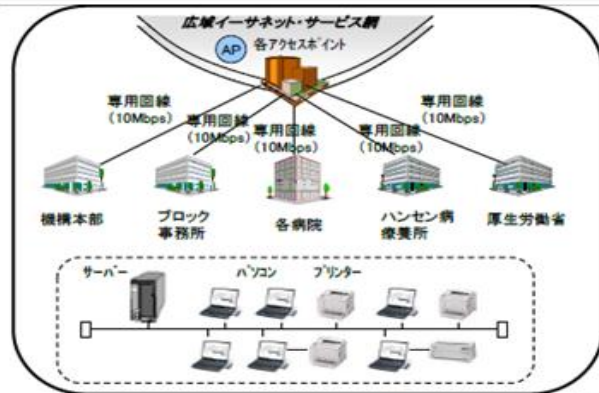
病院名	労災指定医療機関	入院			外来			労災比率合計
		延患者数(人)	延労災患者数(人)	労災比率	延患者数(人)	延労災患者数(人)	労災比率	
高松医療センター	○	63,715	51	0.08%	27,422	35	0.13%	0.09%
普通寺病院	○	72,153	1,041	1.44%	119,494	920	0.77%	1.02%
香川小児病院	○	127,867	0	0.00%	91,868	4	0.00%	0.00%
四国がんセンター	○	125,001	476	0.38%	122,765	243	0.20%	0.29%
愛媛病院	○	125,069	1,337	1.07%	51,295	891	1.74%	1.26%
高知病院	○	143,916	713	0.50%	160,057	357	0.22%	0.35%
小倉医療センター	○	136,847	298	0.22%	125,349	147	0.12%	0.17%
九州がんセンター	○	139,727	772	0.55%	83,307	158	0.19%	0.42%
九州医療センター	○	226,771	223	0.10%	204,846	165	0.08%	0.09%
福岡病院	○	112,028	139	0.12%	78,096	57	0.07%	0.10%
大牟田病院	○	136,130	340	0.25%	22,387	56	0.25%	0.25%
福岡東医療センター	○	156,149	1,136	0.73%	88,623	474	0.53%	0.66%
佐賀病院	○	89,151	1,514	1.70%	77,715	250	0.32%	1.06%
肥前精神医療センター	○	187,678	89	0.05%	49,770	20	0.04%	0.05%
東佐賀病院	○	102,394	425	0.42%	35,812	181	0.51%	0.44%
嬉野医療センター	○	133,931	927	0.69%	131,019	398	0.30%	0.50%
長崎病院	○	84,120	691	0.82%	25,657	147	0.57%	0.76%
長崎医療センター	○	211,983	1,785	0.84%	190,460	808	0.42%	0.64%
長崎川棚医療センター	○	88,451	1,400	1.58%	38,626	287	0.74%	1.33%
熊本医療センター	○	174,265	1,039	0.60%	161,310	666	0.41%	0.51%
熊本南病院	○	55,237	423	0.77%	38,886	120	0.31%	0.58%
菊池病院	×	78,639	0	0.00%	17,847	0	0.00%	0.00%
熊本再春荘病院	○	136,664	391	0.29%	51,308	168	0.33%	0.30%
大分医療センター	○	95,790	373	0.39%	82,182	187	0.23%	0.31%
別府医療センター	○	142,541	510	0.36%	144,938	959	0.66%	0.51%
西別府病院	○	128,080	749	0.58%	40,317	338	0.84%	0.65%
宮崎東病院	○	65,672	657	1.00%	29,864	155	0.52%	0.85%
都城病院	○	86,346	1,100	1.27%	73,933	469	0.63%	0.98%
宮崎病院	○	64,582	1,016	1.57%	20,728	370	1.79%	1.62%
鹿児島医療センター	○	117,018	63	0.05%	89,648	22	0.02%	0.04%
指宿病院	○	42,544	178	0.42%	43,079	165	0.38%	0.40%
南九州病院	○	136,544	348	0.25%	41,302	95	0.23%	0.25%
沖縄病院	○	95,229	194	0.20%	26,101	28	0.11%	0.18%
琉球病院	×	128,103	0	0.00%	24,839	0	0.00%	0.00%
合計(144病院)		16,134,396	93,415	0.58%	11,591,168	47,944	0.41%	0.51%
合計(労災指定医療機関 135病院)		15,313,128	93,050	0.61%	11,438,215	47,930	0.42%	0.53%

注) 北海道医療センターに関しては平成22年2月までは旧西札幌病院分を計上している。
まつもと医療センターに関しては松本病院と中信松本病院を合わせた実績を計上している。

国立病院機構の業務運営の現状（続き）

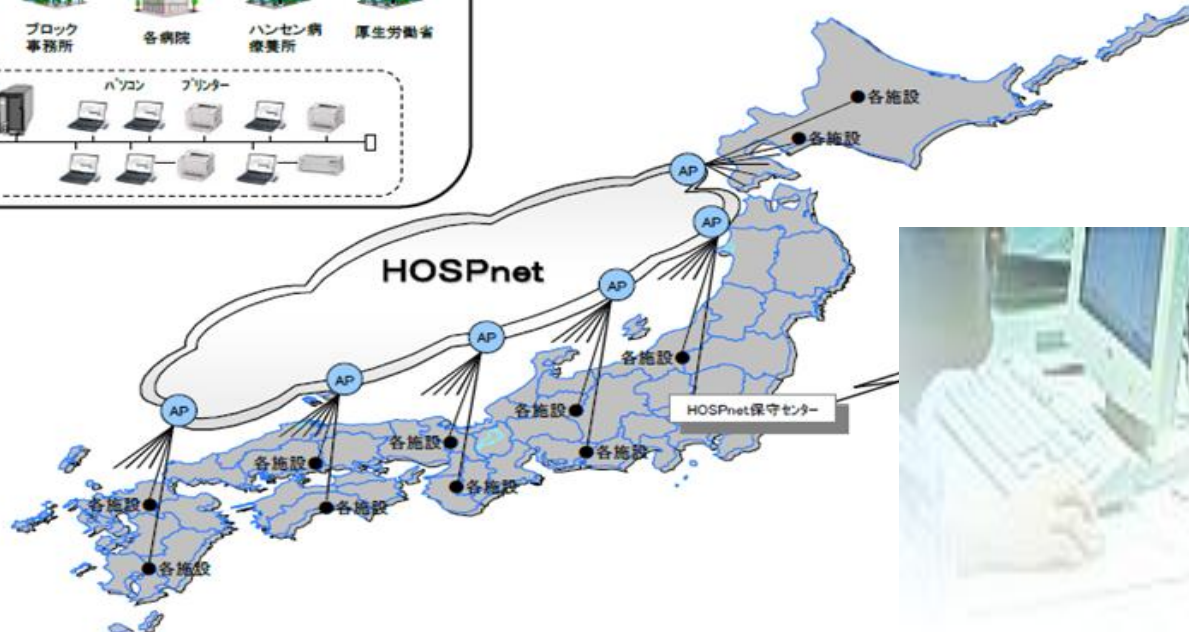
独立行政法人国立病院機構総合情報ネットワークシステム（HOSPnet）

- (1) 国立病院機構は、機構本部及びブロック事務所、144病院、厚生労働省、国立ハンセン病療養所を専用線で結ぶ「HOSPnet」という情報ネットワークシステムを有している。
- (2) このHOSPnet上では、財務・会計システム、人事・給与システム等の業務支援システムのほか、医療安全情報システム（HOSPnetを活用し、各病院から医療事故情報を収集）や診療情報データベース（HOSPnetを活用し、各病院から診療情報を収集）等の診療などに関するシステムが稼働しており、各病院の円滑な業務運営や、医療の質及び医療安全の向上に寄与している。



独立行政法人国立病院機構総合情報ネットワークシステム

- 国立病院機構本部・ブロック事務所、病院（144ヶ所）、厚生労働省、ハンセン病療養所を結ぶ病院専用の情報ネットワーク
- 会計システム、人事システム、給与システム等、基幹業務（メール・インターネット閲覧等）を支援するためのシステムが稼働



【参考】現在のシステム導入状況

病院名	電子カルテ	オーダリング	部門システム	医事会計システム
北海道がんセンター	○		○	○
北海道医療センター		○		○
函館病院			○	○
旭川医療センター		○		○
帯広病院			○	○
八雲病院			○	○
弘前病院		○		○
八戸病院		○		○
青森病院			○	○
盛岡病院		○		○
花巻病院		○		○
岩手病院		○		○
釜石病院			○	○
仙台医療センター		○		○
西多賀病院		○		○
宮城病院		○		○
あきた病院		○		○
山形病院		○		○
米沢病院			○	○
福島病院	○		○	○
いわき病院		○		○
水戸医療センター		○		○
霞ヶ浦医療センター			○	○
茨城東病院		○		○

病院名	電子カルテ	オーダリング	部門システム	医事会計システム
栃木病院		○		○
宇都宮病院			○	○
高崎総合医療センター	○		○	○
沼田病院		○		○
西群馬病院		○		○
西埼玉中央病院			○	○
埼玉病院	○		○	○
東埼玉病院		○		○
千葉医療センター	○		○	○
千葉東病院		○		○
下総精神医療センター	○		○	○
下志津病院		○		○
東京医療センター	○		○	○
災害医療センター	○		○	○
東京病院	○		○	○
村山医療センター			○	○
横浜医療センター	○		○	○
久里浜アルコール症センター			○	○
箱根病院	○		○	○
相模原病院		○		○
神奈川病院	○		○	○
西新潟中央病院			○	○
新潟病院		○		○
さいがた病院		○		○

病院名	電子カルテ	オーダリング	部門システム	医事会計システム
甲府病院		○		○
東長野病院			○	○
まつもと医療センター		○		○
信州上田医療センター	○		○	○
小諸高原病院		○		○
富山病院	○		○	○
北陸病院			○	○
金沢医療センター	○		○	○
医王病院	○		○	○
七尾病院	○		○	○
石川病院		○		○
長良医療センター		○		○
静岡てんかん・神経医療センター	○		○	○
静岡富士病院			○	○
天竜病院			○	○
静岡医療センター		○		○
名古屋医療センター	○		○	○
東名古屋病院			○	○
東尾張病院		○		○
豊橋医療センター		○		○
三重病院		○		○
鈴鹿病院			○	○
三重中央医療センター		○		○
榑原病院		○		○

病院名	電子カルテ	オーダリング	部門システム	医事会計システム
福井病院	○		○	○
あわら病院			○	○
滋賀病院			○	○
紫香楽病院		○		○
京都医療センター	○		○	○
宇多野病院	○		○	○
舞鶴医療センター			○	○
南京都病院			○	○
大阪医療センター	○		○	○
近畿中央胸部疾患センター			○	○
刀根山病院			○	○
大阪南医療センター	○		○	○
神戸医療センター	○		○	○
姫路医療センター	○		○	○
兵庫青野原病院			○	○
兵庫中央病院		○		○
奈良医療センター			○	○
やまと精神医療センター			○	○
南和歌山医療センター		○		○
和歌山病院		○		○
鳥取医療センター			○	○
米子医療センター			○	○
松江医療センター			○	○
浜田医療センター	○		○	○

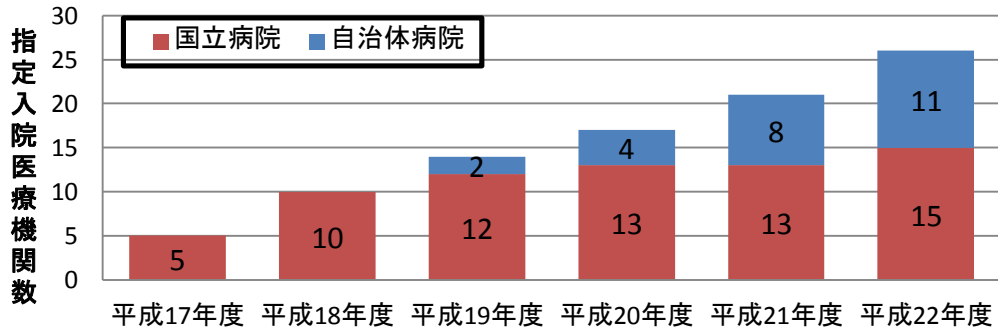
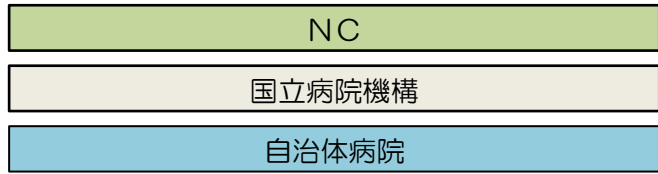
病院名	電子カルテ	オーダリング	部門システム	医事会計システム
岡山医療センター	○		○	○
南岡山医療センター			○	○
呉医療センター	○		○	○
福山医療センター	○		○	○
広島西医療センター	○		○	○
東広島医療センター	○		○	○
賀茂精神医療センター			○	○
関門医療センター	○		○	○
山口宇部医療センター		○		○
岩国医療センター	○		○	○
柳井病院			○	○
東徳島医療センター			○	○
徳島病院			○	○
高松医療センター			○	○
善通寺病院			○	○
香川小児病院			○	○
四国がんセンター	○		○	○
愛媛病院			○	○
高知病院		○		○
小倉医療センター		○		○
九州がんセンター		○		○
九州医療センター	○		○	○
福岡病院		○		○
大牟田病院		○		○

病院名	電子カルテ	オーダリング	部門システム	医事会計システム
福岡東医療センター			○	○
佐賀病院		○		○
肥前精神医療センター		○		○
東佐賀病院		○		○
嬉野医療センター	○		○	○
長崎病院			○	○
長崎医療センター	○		○	○
長崎川棚医療センター	○		○	○
熊本医療センター	○		○	○
熊本南病院		○		○
菊池病院			○	○
熊本再春荘病院	○		○	○
大分医療センター		○		○
別府医療センター		○		○
西別府病院	○		○	○
宮崎東病院		○		○
都城病院		○		○
宮崎病院			○	○
鹿児島医療センター		○		○
指宿病院		○		○
南九州病院	○		○	○
沖縄病院			○	○
琉球病院			○	○
国立病院機構計	43	55	88	143

国立病院機構の業務の在り方<①医療政策の実施主体>

- (1) 国立病院機構は政府が企画立案した医療政策の実施主体としての役割を果たしており、新規の取組や採算を取るのが困難な事業であっても、医療政策上必要と判断された場合、国や地方自治体と連携して率先して実施している。
- (2) 例えば、結核が「国民病」であった当時、結核患者の治療等を一手に担い、結核撲滅に大きな役割を果たしたのは、国立療養所（国立療養所の前身の傷痍軍人療養所や、日本医療団の結核療養所（昭和22年4月に国立療養所に移管））であった。（平成21年において、結核の年間在院患者延数のうち国立病院機構が占める比率は約45%）
- (3) また、医療観察法に基づく「指定入院医療機関」も、当初は国立病院機構の病院が中心であった。平成17年の制度創設から数年を経て、現在は自治体病院の占める比率が増加してきたが、医療観察制度の導入・推進にあたり、国立病院機構が果たしてきた役割は大きい。（平成23年3月現在、指定入院医療機関のうち国立病院機構が占める比率は約60%）。

医療観察法に基づく入院制度の創設当初、厚生労働大臣が指定する「指定入院医療機関」は国立病院機構病院が中心であった。



国立病院の占める割合	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	100%	100%	86%	76%	62%	58%

(注) 国立病院は国立精神・神経医療研究センターを含む。

医療観察法に基づく「指定入院医療機関」数の推移

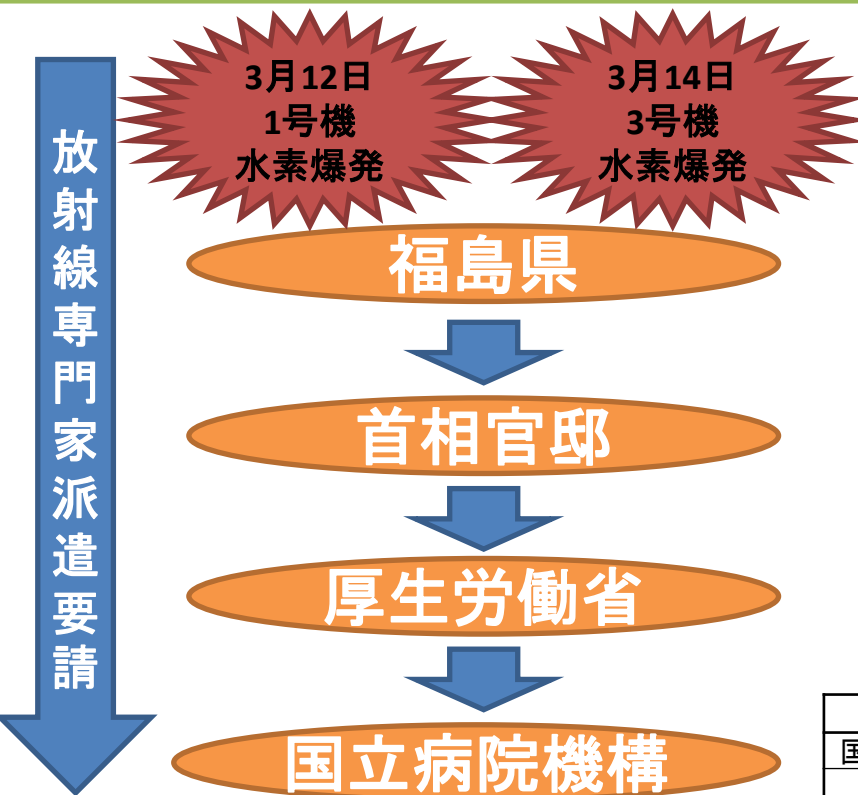
病院名	病床数	開棟年月日
国立精神・神経医療研究センター病院	66床	H17. 7. 15
(国病) 花巻病院	33床	H17. 10. 1
(国病) 東尾張病院	33床	H17. 12. 1
(国病) 肥前精神医療センター	33床	H18. 1. 1
(国病) 北陸病院	33床	H18. 2. 1
(国病) 久里浜アルコール症センター	50床	H18. 4. 1
(国病) さいがた病院	33床	H18. 4. 1
(国病) 小諸高原病院	17床	H18. 6. 15
(国病) 下総精神医療センター	33床	H18. 10. 10
(国病) 琉球病院	33床	H19. 2. 1
(国病) 菊池病院	23床	H19. 9. 3
大阪府立精神医療センター	5床	H19. 9. 7
岡山県精神科医療センター	33床	H19. 10. 1
(国病) 榊原病院	17床	H19. 10. 15
長崎県病院企業団長崎県精神医療センター	17床	H20. 4. 1
(国病) 賀茂精神医療センター	33床	H20. 6. 24
静岡県立こころの医療センター	12床	H21. 3. 24
群馬県立精神医療センター	6床	H21. 6. 15
神奈川県立精神医療センター-芹香病院	2床	H22. 2. 17
東京都立松沢病院	33床	H22. 3. 1
長野県立駒ヶ根病院	6床	H22. 3. 15
(国病) 鳥取医療センター	8床	H22. 5. 6
山梨県立北病院	5床	H22. 7. 8
鹿児島県立始良病院	17床	H22. 7. 15
(国病) やまと精神医療センター	33床	H22. 8. 2
山口県立こころの医療センター	2床	H23. 2. 1

国立病院機構の業務の在り方<②医療政策の実施主体（続き）>

災害の発生や新型インフルエンザ等新興・再興感染症の勃発等、公衆衛生上の重大な危害に対し、厚生労働省や地方自治体と連携し、迅速かつ適切に対応し公衆衛生の確保を図ることは、国立病院機構が果たすべき使命である。

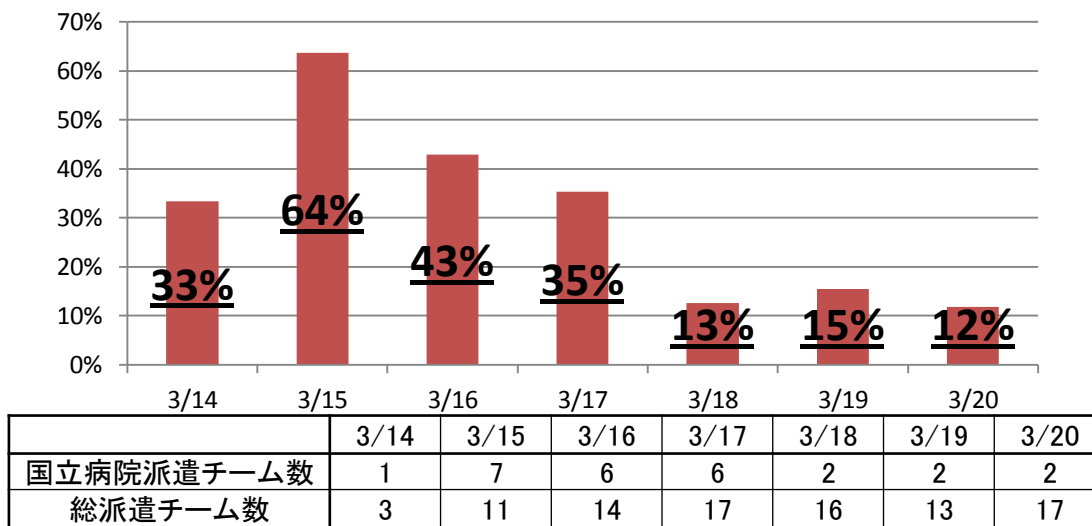
（例）東日本大震災における福島県への放射線スクリーニング班の派遣

原発事故発生後、福島県の要請を受けた厚生労働省の依頼により、国立病院機構は他団体に先駆けて迅速に福島県に放射線スクリーニング班を派遣。



困難な状況の中でも、国民の生命・安全を守るべく政府の依頼等により**即座に対応可能な組織**は必要不可欠。

福島県派遣放射線サーベイランスチームにおける国立病院の占める割合



国立病院機構の業務の在り方<②医師の育成>

国立病院機構における医師臨床研修について

- 国立病院機構以外では習得が困難なセーフティネット領域（重症心身障害、筋ジストロフィー、結核等）の研修や、144病院のネットワークを活用した施設間の共同プログラムを推進。
- セーフティネット領域の研修を通じて、医師に対しては全人的な医療教育の充実が図られるほか、医師の確保が特に困難な本領域の医師確保にも貢献している。

初期臨床研修

- 144病院のうち、53病院が基幹型、116病院が協力型臨床研修指定病院に指定されている。

大学医学部(6年)

医師として必要な知識、技能の習得
(基礎教育、専門教育、臨床実習)

医師国家試験合格

初期臨床研修(2年間の義務)

臨床研修病院において、
基本的診療能力を習得



初期臨床研修修了

専修医制度(3年又は5年)

専門領域において、
より高度な臨床能力を習得

平成21年度に受け入れた専修医数 802名

国立病院機構の臨床研修指定病院数と研修医数
(平成22年3月31日時点)

基幹型臨床研修病院として 指定を受けている病院数	53病院
平成21年度に受け入れた 研修医数	714名



専修医(後期臨床研修)制度

- 各専門診療科において数多くの施設があり、関心のある領域や、目指すべき医師としてのキャリアプラン等を基に、施設の選択が可能であるほか、国立高度専門医療研究センターとの連携により高度な技能の習得も可能である。
- 一部の中核病院には臨床研究センターや臨床研究部が整備されており、これらの施設を利用した臨床研究に取り組むことも可能である。

(参考) 連携プログラムの例

- 肥前精神医療センター(佐賀県)では、機構連携研修コースを設置し、特徴の異なる複数の病院で研修を行うことで、オールラウンドに対応可能な精神科医を育成。

ITシステムを用いた機構連携研修コース

研修会・クルズ・症例検討会など同時共有化

1年次 肥前精神医療センター 精神科基礎研修

2年次 琉球病院・花巻病院 精神科実践研修

3年次 肥前精神医療センター 精神科専門研修

小児思春期医療・発達障害・アディクシオン医療・認知症・感情障害・精神科救急・司法精神ほか

ライフサイクル精神科専門医療研修

国立病院機構の業務の在り方<③地域医療への貢献>

(1) 地域医療支援病院について

45病院が地域医療支援病院(注)に認定されている。

(注) 地域医療支援病院とは紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用等を通じて、地域医療の確保に貢献する病院。

(2) 医療計画の策定等への積極的関与

都道府県の医療計画策定に積極的に関与するなど、地域の医療提供体制の確保に貢献している。

【各都道府県の医療計画における4疾病・5事業に係る記載状況(平成22年1月末現在)】

・4疾病: がん73病院、脳卒中86病院、急性心筋梗塞56病院、糖尿病51病院

・5事業: 救急医療98病院、災害医療48病院、へき地医療10病院、周産期医療46病院、小児救急医療66病院

(3) 医師・看護師の地域偏在の改善への貢献

① 地域の公的病院等に継続的に医師・看護師を派遣

● 延べ232の機構病院から延べ831の自治体病院・診療所や公的病院、民間病院・診療所等に対し、**25,026人・日の医師を派遣**【平成22年度実績】

(事例【平成22年度実績】)

・長崎医療センターにおいて、離島の医療支援を目的に、長崎県対馬いづはら病院他6病院へ、392人・日の医師を派遣

・名古屋医療センターにおいて、社会保険中京病院(産婦人科)他8病院へ、延べ381人・日の医師を派遣

・岡山医療センターにおいて、尾道市立夜間救急診療所他13の診療所等へ、延べ493人・日の医師を派遣

(参考) 平成19年度においては、政府の緊急臨時的医師派遣システムへ協力し、岩手県立大船渡病院へ機構の10病院から11名の医師を派遣

● **長崎医療センター**においては、**離島での医師確保**に協力するため、長崎県病院企業団(注)との協定に基づき、**人事交流**の形で**長崎県島嶼部の病院へ一定期間の医師・看護師派遣**を実施(平成22年4月～)【平成22年度: 医師5名、看護師2名】

(注) 長崎県と島嶼地域の5市1町が共同で病院経営を行うための特別地方公共団体

② 医師不足の国立ハンセン病療養所へ医師派遣を実施

● 12の機構病院から**883人・日の医師を派遣**【平成22年度実績】

③ 医師・看護師不足地域の国立病院機構病院への医師・看護師派遣を実施

● 107病院に対し、61病院から診療や当直業務のため6,418人・日の医師を派遣【平成22年度実績】

● 6病院に対し、4病院から数ヶ月単位で計26名の看護師を派遣【平成21年度実績】

国立病院機構の業務の在り方<④政策課題克服に資する研究の強化>

国立病院機構において研究を実施する意義

政策課題の克服に資する次のような研究を推進

- 基盤整備を含む大規模な資金投下が必要な研究
- 政策的課題を克服すべく、国立病院機構での実施が効率的かつ効果的な研究
- 数多くの症例数を基に大規模かつ継続的に実施する研究

国立病院機構における政策課題克服に資する研究・事業の紹介

EBM推進のための大規模臨床研究事業(良質な医学的根拠を創出)

・EBM推進のための大規模臨床研究事業等において、疾患の発生頻度を調査するなど政策課題克服に資する研究を実施している。
(例)「国立病院機構におけるClostridium difficile関連下痢症の発生状況と発生予防に関する研究」においては、我が国では発生状況すら把握されていないClostridium difficile関連下痢症の発生状況の調査及び重症化因子の検討を実施することとしており、予防に関するガイドラインの策定につながることを期待される。

健康危機発生時のワクチン政策の決定に寄与(我が国の医療政策に貢献)

・平成21年度の新型インフルエンザA(H1N1)の世界流行時に、国内での新型インフルエンザワクチン接種に向けた有効性及び安全性に関する臨床試験等(被験者2万人以上)を迅速に実施し、ワクチン接種回数及び対象者の決定等の国の医療政策に寄与した。

医師主導治験の推進(医師主導治験を推進する国の政策に貢献)

- ・新型インフルエンザA(H1N1)ならびに季節性インフルエンザHAワクチンの免疫原性に関する小児臨床試験
- ・パーキンソン病に合併する精神症状に対するドネペジル塩酸塩の有用性に関する多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験

臨床評価指標の作成(我が国の医療の質向上に貢献)

- ・「医療の質の評価・公表等推進事業」において、病院間でばらつきが少なく、医療の均てん化を目指した17指標を作成し、算出結果の報告書については、病院ごとの数値(原則病院名は公開)を載せ、計測マニュアルも併せてホームページにおいて公表した。
- ・計測マニュアルにより、他の医療機関でもDPCデータセットを用いて本指標の算出、評価が可能となる他、病院ごとの数値の公表により、医療を病院横断的に可視化し、診療やケアの透明性の確保につながることから、我が国の医療の質の向上に貢献した。

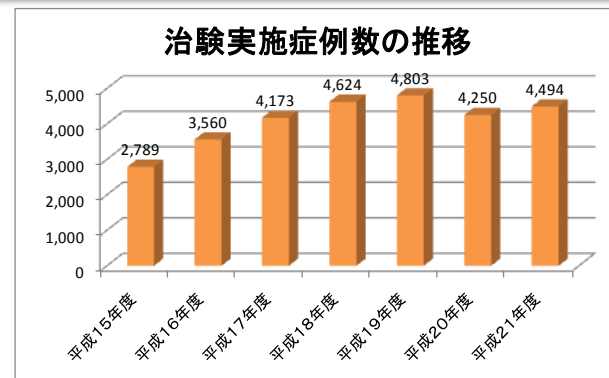
【参考】治験等の実績

国際共同治験、医師主導治験、入院治験をはじめとする難易度の高い治験を迅速に実施し、ドラッグラグ解消や医療政策の方針決定に貢献している。

(例1) 平成19～21年度に製造販売又は適応追加が承認された268品目のうち154品目について、国立病院機構病院が承認申請の前提となる治験に貢献している。

	全承認品目数(A)	関与品目数(B)	関与率(B/A) × 100 (%)
平成19年度	81	53	65.4%
平成20年度	79	39	49.4%
平成21年度	108	62	57.4%
計	268	154	57.5%

常勤CRC配置の65施設対象調査(平成21年度)



参考) 国立病院機構の治験実施症例数の推移

(例2) 新型インフルエンザワクチンの治験等を、厚生労働省の要請を受けて迅速に実施し、有効性・安全性等を検証した。

研究名称	対象者	対象人数	協力病院数	実施期間
免疫原性に関する臨床試験	20歳以上	200名	4病院	平成21年9月～10月
免疫原性に関する小児臨床試験	生後6月～13歳	360名	8病院	平成21年10月～12月
安全性の研究	20歳以上の職員	22,112名	67病院	平成21年10月
免疫原性の持続等に関する検討	20歳以上	400名	5病院	平成22年1月～3月
輸入ワクチンに関する使用成績調査	18歳以上	644名	18病院	平成22年2月～3月



国立病院機構の業務運営における当面の課題

- (1) 国立病院機構は、民間病院等での提供が困難な分野の医療の提供や健康危機管理等、医療政策の実施主体としての役割を担いつつ、医業収益の向上や人件費・材料費の伸びの抑制等により、黒字経営を維持している。
- (2) 他方、公経済負担の在り方や運営費交付金の削減等、安定的な政策医療の提供に当たって、検討すべき課題を有する。

(1) 公経済負担等の過去債務

- ・国立病院機構は、国立印刷局、造幣局と並び、公経済負担^(注1)と整理資源^(注2)を負担することとされている数少ない法人の一つである。整理資源は予算上、運営費交付金で措置されているが、公経済負担は自己資金で負担している。
- ・今後、公経済負担の増加が見込まれる中で、機構の財務への影響や他の公的病院との均衡等を勘案し、公経済負担と整理資源の負担の在り方について、財務当局との間で整理をしていく必要がある。

(注1) 公経済負担は基礎年金給付金(基礎年金拠出金)に係る国庫負担2分の1相当額。

(注2) 整理資源は恩給期間に係る退職給付債務の積立不足を補う負担。

(2) 運営費交付金

- ・国立病院機構の運営費交付金の大半(22年度:約8割、23年度:約9割)は整理資源や国期間分の退職手当など過去債務清算事業に充てられている。
- ・また、23年度予算において、診療事業に係る運営費交付金については、22年度診療報酬改定の影響のない災害医療(医薬品の備蓄等)の2億円を除き、ゼロとされた。
- ・国立病院機構は、国の財政措置が縮減される中であっても、重症心身障害や筋ジストロフィーなど、民間の医療機関等では必ずしも提供されないおそれのあるセーフティネット分野の医療を安定的に提供する責務を有する。

国立病院機構の業務運営における当面の課題（続き）

（3）黒字経営の継続

- ・（2）に記載のとおり、国立病院機構の運営費交付金の大半は整理資源や国期間分の退職手当など過去債務清算事業に充てられており、また、診療事業に係る運営費交付金については、22年度診療報酬改定の影響のない災害医療事業（医薬品の備蓄等）の2億円を除き、ゼロとされた。
- ・このように、運営費交付金が削減される状況下にあっても、国立病院機構は、国費に依存しない経営を達成しており、平成17年度以降、5期連続で黒字となった。
- ・運営費交付金の更なる縮減が見込まれる中で、セーフティネット分野の医療等を今後も安定的に提供するためには、医業収益の向上や更なるコスト削減等の取組により、黒字経営を継続する必要がある。

（4）設備投資計画等の策定

- ・昨年11月の行政刷新会議WG事業仕分けにおいて、国立病院機構は、設備投資計画、その償還計画、キャッシュの計画を策定し、第三者のチェックを受けて、きちんと説明できる体制を早急に作るよう指摘を受けた。
- ・これを踏まえ、国立病院機構において、今後、速やかに設備投資計画等を策定し、第三者のチェックを受けて説明できる体制を作る必要がある。

（5）非公務員化

- ・平成22年4月の厚生労働省省内事業仕分けにおいて、国立病院機構は、非公務員化の方針を打ち出したところ。
- ・非公務員化により、勤務体系の一層の弾力化が図られ、他設置主体の病院・診療所への診療応援等も可能となることから、地域の医療提供体制の維持・確保に資する。